

「今、思うこと」

明石　ともえ

「お母さん急いで、とにかく急いで療育をうけて下さい。」
三歳児健診で「言葉がゆっくりなのでどうしたらいいですか」と相談しに行ったら急にせかされるように事態が一変しバタバタと「発達障害があります、自閉スペクトラム症です。」と診断をうけてからもう七年になる。歩くのもしゃべるのもゆっくりだったが、娘のペースで大きくなってくれたら良いと思っていた。焦ってなかった訳ではなかったが、まさかその背景に障害がかくれているなんて思ってもいなかったからだ。娘に二つ下の弟が産まれた時におっとりだった娘の性格が急変した。最初は赤ちゃん返りだと思っていたが落ち着くどころか泣き暴れはひどくなる一方だった。毎時間、場面が切り変わるごとに泣き暴れ、これは夜中も変わらなかった。弟が産まれた事で生活リズムが娘中心でなくなったから、不安定になっていたのだとは、だいぶ後に気付く事だった。

診断をうけてから今までの日々は、振り返ろうにも、その

時その時、必死だった事は確かだがあまり思い出せない。ただ、周りにいる人達の支えや助けがあつたからこそ、今までやってこれたと思う。とくに、いつもそばにいてくれる、きようだい児である娘の弟。また両親や兄、妹には感謝してもしきれない。これからもずっと支えてくれる人達を大切にしていきたいと思う。一方で、私は娘の障害を受容できたのかどうかもまだ分からない。いまだに娘の大パニックは、受けとめれていない。でもパニックが落ちついたら「さつきはパニックになってごめんね」と娘の方から言ってくれるようになったので成長を感じる。娘の特性とうまくつき合っていく事は、これからもずっと課題のままだが、素の娘は、おしゃれが好きで赤ちゃんが好きで、「お母さんいつも受けとめてくれてありがとう」と言ってくれる、優しい子に育っていると感じる。今は「お母さんになりたい」という娘の将来の夢が叶うよう願いつつ、娘がやりたいと思つた事を一緒にして楽しい経験をつみ重ねていっているところだ。一年先の事もよく分からないけれど、私はとりあえず毎日、子供達と何か一つでも笑えたら、笑顔が見れたら幸せだなと感じている。

そんな日々を過ごしている。